

令和3年 11月

板橋地区区民と区長との懇談会
報告書

板橋区政策経営部広聴広報課

目 次

	ページ
I 区長冒頭挨拶	
II 質問要旨及び区長回答	1
1 番 災害時に断水した際の給水手段、公園への防災井戸の設置について	2
2 番 2021 年版ハザードマップについて	3-4
3 番 加賀エリアの交通安全対策について	5
4 番 加賀一丁目2号の街路灯のLED化について	5
5 番 タブレット有効活用使用について	6
資料1 スライド資料	7-13
II 懇談（意見交換）	
板橋消防団第一分団の活動紹介について	14-15
コロナ禍における防災活動について	16
区長総括	16
資料2 第2部「板橋消防団第1分団の活動紹介」	17-18
資料3 スライド資料	19-20
III 区からの情報提供	
1 新型コロナワクチン接種情報	21-22
2 その他リーフレット	23
IV 区長結びの挨拶	24
V 配布資料	
板橋地区エリアマップ	25

板橋地区の皆様には、日頃から区政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に、多大なるご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。緊急事態宣言中は、さまざまな活動が制限されることとなり、板橋区におきましても、施設の利用制限やイベントの中止など、皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしました。

このような状況にございまして、住民相互の親睦と交流を深め、地域の活性化と安心・安全なまちづくりに、多大なる貢献をいただいておりますことに、敬意を表します。

板橋地区の青少年健全育成事業において、先月10月末に、ウォークラリー大会を新たに実施したと伺っております。参加者がコマ地図を読み取りながら、ウォーキングすることで、心身ともに、リフレッシュできる楽しい時間になったことと存じます。今後とも地域の青少年健全育成のため、ご尽力の程、よろしくお願いいたします。

9月1日には東板橋体育館が、植村記念加賀スポーツセンターとして、リニューアルオープンしました。12月には、植村冒険館も開館し、グランドオープンとなります。オープニングセレモニーや、講演会の開催も予定しておりますので、ぜひ、皆様も一度足をお運びください。

加賀藩下屋敷の名残や、植村直己が居住していたという歴史・文化が根付いた板橋地区において、この植村記念加賀スポーツセンターは、絶え間なく挑戦し続ける植村スピリットに導かれた「スポーツ・冒険・緑・歴史」が融合された、新たなスポーツ文化基地として、「板橋こども動物園」や、今後整備予定の「史跡公園」などの周辺施設、板橋駅前の再開発などとともに、地域の魅力の創出に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、板橋区では、「板橋区基本計画 2025」における未来創造戦略で指向する、魅力創造発信都市と、安心安全環境都市の実現をめざし、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症へ適切に対応していくとともに、昨年策定した「いたばしNo.1実現プラン 2025」の3つの重点戦略である「SDGs 戦略」・「デジタルトランスフォーメーション戦略」・「ブランド戦略」に経営資源を重点的に投入することで、ポストコロナ時代を見据えた、「東京で一番住みたくなる」未来につながるまちづくりを進めてまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後となりますが、前回の板橋地区における懇談会の開催は、平成29年11月15日であり、早いもので4年が経過しています。今年度の「区民と区長との懇談会」は、5地区で実施を予定しておりましたが、新型コロナの影響により、実際に開催できたのは、本日の板橋地区のみです。

地域の課題はもとより、区政全般にわたる課題や要望などを、直接、お伺いできる貴重な機会ですので、これを活かした地域の課題解決、そして、区の発展につなげてまいりたいと考えています。

感染症の拡大防止を踏まえ、以前より短い時間での運営とはなりますが、有意義な懇談会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

1番 災害時に断水した際の給水手段、公園への防災井戸の設置について

板橋一丁目町会からのご質問①（要旨）

断水時における加賀給水所以外の給水手段を知りたい。

区長回答

発災時における飲料水や生活水の確保については、避難生活等を送るうえで、最重要課題であることは認識しており、東京都水道局と発災時の対応について、定期的に協議しております。

板橋区内には、朝霞、三園、金町、東村山などの浄水場から給水されており、加賀一丁目の板橋給水所のほか区内7か所の災害時給水ステーションに貯留され、震災等による断水に備えております。

このほか、東京都水道局により設置された「応急給水栓」を整備している指定避難所が、板橋地区内には板橋第二小学校を含め4カ所ございますので、ご活用いただきたいと存じます。

また、区では、断水の発生状況をいち早く把握し、万が一断水した地域には給水車を派遣することも予定しており、生活に必要な水の確保に努めてまいります。

板橋一丁目町会からのご質問②（要旨）

区立公園に防災井戸を設置することを提案し要望する。

区長回答

東京都水道局によると、令和元年度末時点の板橋区の水道管耐震化率は51%に達しているとのことであります。区は水道局に対し、水道管路のさらなる耐震化や指定避難所への応急給水栓の設置を要望しているところでございます。

区内には、8か所の給水拠点に約5万7,000 m³（区民一人当たり1日3ℓ使用で30日分）が貯留されており、震災等による断水に対応するとともに、区では断水情報の早期把握に努め、給水拠点から給水車を速やかに派遣することを想定しております。

防災井戸は、水道の耐震性が脆弱な時代に、基準に適合した場合に限り設置されてきましたが、水道局による耐震化整備によって、災害時においても水道による水源確保の見通しがついてきており、現在のところ、これ以上に拡大する必要性は乏しいものと考えております。

2番 2021年版ハザードマップについて

板橋東町会からのご質問①（要旨）

「洪水ハザードマップ（集中豪雨版）3」では、石神井川の東橋から金沢橋にかけて、以前よりも浸水エリアが広がっている。浸水想定の変化（増加）の理由を知りたい。

区長回答

石神井川のハザードマップは、水防法の改正により浸水想定的基础となる河川流域の想定降雨量が見直され、これまでの基準であった平成12年東海豪雨における降雨量と比較し、総雨量は約17%増加、時間最大雨量は約34%の増加となっております。

石神井川には、上流部に4つの調節池と目白通り下に地下調節池が整備されており、また、都立城北中央公園内にも地下調節池が建設されております。

平成29年から稼働した目白通り下の地下調節池は、集中豪雨の際に下流区間の水位を30cm程度低減する効果を発揮するなど、浸水対策に一定の改善が図られているものの、流域の想定降雨量の見直しにより、浸水想定区域が広がりました。

台風やゲリラ豪雨など、大量の雨が降ると石神井川の水位が上昇し、氾濫につながる恐れがあるため、あらかじめハザードマップをご確認いただき、早めの避難行動につなげていただきたいと思います。

板橋東町会からのご質問②（要旨）

災害への備え方や心構え、また、災害発生時に特に心がける点などをご教示願いたい。

区長回答

災害に対する備え方などを取りまとめた「防災ガイド・ハザードマップ 2021」を今年の7月に全戸配布いたしました。

本日は、お手元に「防災ガイド・ハザードマップ 2021」を用意しており、防災ガイドの内容などを担当部長から説明いたします。

（以下、危機管理部長より説明）

「地震への備え（資料1スライド3）」につきましては、震災時・平常時に備えておくべきことを記しております。平常時の備えとして、家具の転倒防止等をお願いできればと考えております。

「水害への備え（資料1スライド4）」につきましては、水害への備えをまとめたページとなっております。水害の種類として、川の水があふれる外水氾濫、下水管から雨水があふれてくる内水氾濫などを説明しております。また、日ごろから備えておくべきこととして、身近なところで、雨水ますの清掃に取り組んでいただけると幸いです。雨水ますは、下水に雨水が入っていく入り口であり、落ち葉がたまりやすい場所になりますので、ご注意ください。

「台風接近！避難すべき場所は？（資料1スライド5）」については、台風接近時の避難場所や注意すべきことを記載しております。コロナ禍での避難におきましては、在宅避難、縁故避難など、避難所が密にならないよう、区としては分散避難を推奨しているところでございます。

「情報収集のしかた（資料1スライド6）」につきましては、災害時の情報収集の方法について記載しております。平常時から災害時の情報収集の方法についてご確認ください。

「災害時に必要なもの（資料1スライド7）」につきましては、災害時に必要となるものをまとめたページとなります。日ごろの食料の備蓄として1週間分の食べ物をローリングストックで保存していただくことについて記載しております。

「洪水ハザードマップ（集中豪雨版 3）（資料 1 スライド 8）」をご覧ください。このハザードマップは石神井川で増水した際の被害想定を示したものとなります。前回のハザードマップから浸水区域が拡大しております。このハザードマップを参考にご自宅の周辺をご確認いただき、早めの防災行動を心がけていただければと存じます。

（以下、土木部長より説明）

まず、令和元年の台風 19 号が上陸した際の板橋における時間雨量と水位を示したグラフ（資料 1 スライド 9 番）について説明いたします。当時、最大の雨量は一時間あたり 30 数ミリを記録しました。仮にそれ以上に雨量が増加し、水位が警戒水位まで到達すると、区から避難指示が防災無線等を通して情報が発信されるという計画となっております。

東京都が石神井川における下流の水位を調整するため、調整池の整備を進めております（資料 1 スライド 10 番）。これは、下流で水位が上がってくることが想定される場合にその水を一度貯留して下流の水位を下げる装置となっております。白子川地下調整池は、上から見ると長い管になっておりますが、拠点的にみても、地下に大きく穴をあけて、その両方を地下で結び、その途中でも貯留ができるシステムとなっております（資料 1 スライド 11 番）。東京都の調査では、調整池の効果について上流で 1 時間あたり 30 ミリの雨が降った際に調整池 1 か所を稼働させることで、下流の水位が 30 センチ低下したという実験結果が報告されております（資料 1 スライド 12 番）。

続いて、ハザードマップについて説明いたします。ただいま説明した調整池が機能したにもかかわらず、水位が河川の堤防の高さを超えてしまった場合の水の深さを地図に落とし込んだものがハザードマップとなります。河川が氾濫すると、屈曲している部分から水があふれ出ていくこととなります。その屈曲している複数の地点であふれ出る水の深さを図にして、それらの一番深いところをとり、図にしたものがハザードマップとなります。

最後に今後の計画についてご説明いたします（資料 1 スライド 13 番）。現在、降雨量が一時間あたり 50 ミリを超えると被害が出ると想定されています。今後、一時間あたり 75 ミリの降雨量まで耐えられるよう

に東京都が整備を進めていく予定です。具体的には、河川整備で 50 ミリ、貯留池整備で 15 ミリに対応し、残り 10 ミリは区立公園の中で、水が通る管に穴をあけて、なるべく地中に水を浸透させて、大雨の時に河川に流れる水を減らす装置を付けて対応しています。

皆様へのお願いとして、お風呂の水を抜いたり、洗い物をしたりする時間をずらすなどの小さな心掛けが、河川の氾濫を防ぐことにつながりますので、ご協力いただければと存じます。

3番 加賀エリアの交通安全対策について

加賀五四自治会からのご質問①（要旨）

王子新道の加賀公園側にガードレールの設置をお願いしたい。

区長回答

日ごろから、地域の交通安全にご配慮いただき、厚く感謝申し上げます。

王子新道沿道は、複数の大型マンションが建設されたことと合わせ、区の施設も整備中であることから、交通量調査や交通予測の結果に基づいて交通計画を検討し、それに基づいた道路整備を実施する考えであります。

しかしながら、最終整備にあたる（仮称）史跡公園の整備が大幅に遅れる見通しとなったことから、道路整備についても、実施時期に遅延を生じることになりました。

この状況を受けて、加賀公園付近の安全対策については、当面、公園内通路を代用することといたしますが、その支障となっている駐車車両を排除するため、暫定対策として、加賀一丁目8番にあるアトラス加賀の自主管理歩道から公園入口まで、歩行者が通行する路側帯の内側を着色するとともに、公園入口付近には、ゴムで被覆したラバーポール・コーンなどの設置を行う考えでございます。

加賀五四自治会からのご質問②（要旨）

石神井川遊歩道と一般公道の交差点の安全対策の強化を図ってほしい。

区長回答

交通安全対策については、道路施設の改良や交通規制をはじめ、交通ルールの順守や安全意識の啓発など、様々な側面から対策を講じていく必要がございます。

このうち歩道設置などのハード整備については、（仮称）史跡公園整備の延伸に連動して、当初の整備計画よりも遅延せざるを得ない状況ではありますが、反面、すでに開園していることも動物園やマンション、間もなく開園する植村記念加賀スポーツセンターへの通行者の動向などを反映した、より安全性・利便性の高い交通計画を考えることが必要となります。

ご要望のような横断歩道の設置や交通規制については、警察署が地域の意見を踏まえて行うこととなるため、今後、区で三者合同の検討会・協議会なども提案させていただき、安全なまちづくりを総合的かつ効率的に進めてまいります。

4番 加賀一丁目2号の街路灯のLED化について

加賀五四自治会からのご質問（要旨）

加賀一丁目2号一帯の居住者から、夜道が暗いという声が上がっているため、街路灯電球のLED化を進めてほしい。

区長回答

現在、区では、街灯のLED化を進めており、加賀二丁目2号周辺の公道の街灯は、LED化が完了しております。

ご指摘の場所については、居住者の立会いのもと、位置の確認、照度の調査を行い、周辺より照度の低い街灯があったため、対象の街灯を明るい機種に変更いたしました。

今後も、歩行者の安全な通行を確保するため、適切に街灯の更新及び維持管理を行ってまいります。

5番 タブレット有効活用使用について

一般公募からのご質問①（要旨）

区立学校生徒に配布されているタブレットを使用。使用時間外や学習内容の理解度を考え、参考書内蔵使用、質問や先生の答えをお互いの空き時間利用。デザインや個々の研究物の展示会開催。これらを通し技術の基礎を身に付け、IT 技術の強化を提案する。

区長回答

9月にネットワーク環境が整い、本格的な運用が始まっており、各学校において端末の活用を進めております。

参考書等については、現在、文部科学省においてデジタル教科書の今後の活用方法について検討しております。区としては国の方向性を踏まえ、学習における教科書等の活用を今後検討してまいります。

また、配付しているタブレットを使用し、教員が宿題として課題を配信し、児童の回答に対してコメントをすることができます。

さらにタブレット内の機能を使うことで、各学校や教員の研究成果や実践を共有することも可能です。

いただいた御意見を踏まえ、本区における児童・生徒及び教員のICT活用能力の向上を図ってまいります。

一般公募からのご質問②（要旨）

タブレット活用でいじめがあり、亡くなってしまった事例を踏まえ、子ども同士の通信は、教師管理時間に限る等、規制をもうける等の対応をすべきであるとする。

区長回答

児童・生徒がタブレットの適正な活用ができるようにし、いじめ等を行わないように対策していくことは大変重要なことであると認識しております。

区では、タブレットの使用によるトラブルを防ぐため、児童・生徒同士によるメール、ビデオ会議、チャット、掲示板、SNS等は使用できないように機能制限を行っております。

また、児童・生徒と保護者に対し使用時のルールを配付し、学習以外にタブレットを使用しないことや、家での使用時間が長時間にならないようにすることについて周知を図っております。

通信時間の規制も含め、教員がいじめを見逃さない、組織で対応する、子どもたち自身がいじめについて考え行動できるようにする等、タブレットの適正な活用といじめの未然防止、早期発見、早期対応の両輪で対応してまいります。



防災ガイド・ハザードマップ 2021	
地震への備え	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生！まずは何をする？ …… 防-2 う、あなたにできること！ …… 防-3 避難する？ ちょっと待って！ その前に！ …… 防-4 避難するときにあわてないために！ …… 防-5
水害への備え	<ul style="list-style-type: none"> 水害の情報を知っておこう！ …… 防-6 う、あなたにできること！ …… 防-7 台風接近！ 避難するべき場所は？ …… 防-8 レベル5ではもう悪い！ いつ避難？ …… 防-9
情報収集のしかた	<ul style="list-style-type: none"> テレビで情報収集！ …… 防-10 携帯電話やスマートフォンを活用！ …… 防-10 ホームページなどを確認！ …… 防-11 情報は他にも！ …… 防-11
災害時に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> 家族の食料を少し多めに買っておこう！ …… 防-12 1週間分の食や物、飲み物を用意！ …… 防-12 災害時に必要なもの一覧 …… 防-13
避難所での注意点	<ul style="list-style-type: none"> 避難所ってどういうところ？ …… 防-14 避難所で気をつけることは？ …… 防-15 被災者同伴一覧 …… 防-16 - 17
防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> 防災マップ(地震・大規模火災) …… 防-18 - 23
水害ハザードマップ	<ul style="list-style-type: none"> 洪水ハザードマップ(圏中圏外別) …… 防-24 - 29 洪水ハザードマップ(国川江東圏) …… 防-30 - 32 高潮ハザードマップ(江東圏・浪水圏・特別防区) …… 防-34 - 35
土砂災害ハザードマップ	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害ハザードマップ(全域・圏外別) …… 防-36 土砂災害ハザードマップ(エリア別) …… 防-37 - 41

今、あなたにできること!

地震にだけ対峙しなくて済むのは、「家具類の転倒・落下」が「地震による火災(震災火災)」だとわかっていまだに頭の隅に入れて、もう一度気をチェックしてみましょう。

家具転倒防止器具取り付け費用の助成

この年以降家具転倒防止器具(避難倉庫・押入れ)の取り付け費用を助成しています。

- 家具転倒防止器具 2100円以内
- 家具転倒防止器具 取付け費用 2579-2554

消電火災を防ごう

震災火災とは、震災前後の火災であり、震災が原因とは区別して発生する火災のことです。震災による火災は震災発生直後の火災は、火災の原因が震災火災によるものではないわけでも、震災火災発生直後に、震災の被害による被害を発生する火災に分類される。震災火災による火災の発生が想定されています。

大震災でけがや傷じ込めをふせぐためには

- ▲ 家具を固定する
- ▲ 火災防止、避難時に火災防止のフィルムを貼る
- ▲ 家具転倒防止器具の設置を要しない
- ▲ 防火扉によるけがを防止するため、スリッパ・避難靴を用意しておく

地震への備え

地震はいつ、どこで起こるかわかりません。また、そのとき必ずしも家裏と一緒にいるとは限りません。災害が発生した際に、自分の備わった自身の状況や行動に備わって災害にイザ、備えておくことが重要です。

避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備	避難の準備
7	6	5	4	3	2	1	0	0	0

今、あなたにできること!

風水害による家屋の被害を軽減するために、日頃から家の周りの自然や整備をしましょう。

Check 屋根・外壁

不安定なアンテナはありますか?
瓦のけり・剥けはありますか?
雨どいにはゴミや葉は落ちていませんか?

Check 窓ガラス

窓の割れ・つぼりはありますか?
雨どいにはゴミや葉は落ちていませんか?

Check ベランダ

床を歩くと揺れませんか?
落下物や排水はありますか?

Check プランタ

庭や中庭に植えている樹木はありますか?

Check 雨水排水の確保

雨水排水の確保は、雨水が排水されるように確保する必要があります。日頃の点検に協力をお願いします。

Check 物置がない

「物置がない」状態は、地震の際にブロックなどを巻き込んだりします。

ご自宅でお困りな場合は、下記までご連絡ください。

● 建築士事務所/インフォ 3579-2554

● 建築士事務所/インフォ 5398-7333

水害への備え

台風等の水害は「特殊な大雨(50mm/h以上)に対応できるように整備されています。それ以上の「豪雨に突いた」が起きると、下水道の処理能力を超えてしまい、内水氾濫(逆流)が発生する可能性があります。

大雨の発生	大雨の発生	大雨の発生	大雨の発生	大雨の発生	大雨の発生
1	2	3	4	5	6

今、あなたにできること!

雨水などの溢れがあるときに、水を排水することで、建物への被害を軽減することができます。

排水水の作り方

▲ 家庭で活用しているお風呂やトイレの排水を、下水道に排出する。

▲ 家の周辺の排水を、下水に排出する。

土のステーション

近所や近所に土を貯える「土のステーション」を設置しています。

大雨の上は下流まで流す恐れがあります。水かさが増える前に排水センターに連絡してください。

● 下水道局/下水道局/インフォ 3579-2297

水害の種類を知っておこう!

内水氾濫

大雨の発生により、排水設備が詰り、屋内に水が溜まる。

外水氾濫

大雨の発生により、河川や海に水が溜まり、堤防が崩壊して、屋外に水が溜まる。

土砂災害(がけ崩れ)

大雨の発生により、土砂が崩れ、道路や建物に被害を及ぼす。

高潮

大雨の発生により、海面上がりを起こし、沿岸部に被害を及ぼす。

レベル5ではもう遅い！ いつ避難？

警戒レベルと避難行動

区では、気象庁などから発表される「防災気象情報」を参考に、警戒レベルを付した「避難情報」を発令します。レベル5の情報はすでに災害が発生し、状況が更に悪化したときに発令するため、必ず発令されるものではありません。災害に避難するために「レベル4までの情報」を確認してください。

警戒レベル	避難行動	避難情報	災害発生情報	避難準備情報	避難開始情報	避難完了情報
5	速やかに避難所へ避難する	避難所からの避難情報	大規模な地震発生などの発生	大規模な津波発生などの発生	大規模な台風発生などの発生	大規模な豪雨発生などの発生
4	速やかに避難所へ避難する	避難所からの避難情報	大規模な地震発生などの発生	大規模な津波発生などの発生	大規模な台風発生などの発生	大規模な豪雨発生などの発生
3	速やかに避難所へ避難する	避難所からの避難情報	大規模な地震発生などの発生	大規模な津波発生などの発生	大規模な台風発生などの発生	大規模な豪雨発生などの発生
2	速やかに避難所へ避難する	避難所からの避難情報	大規模な地震発生などの発生	大規模な津波発生などの発生	大規模な台風発生などの発生	大規模な豪雨発生などの発生
1	速やかに避難所へ避難する	避難所からの避難情報	大規模な地震発生などの発生	大規模な津波発生などの発生	大規模な台風発生などの発生	大規模な豪雨発生などの発生

自分の命は自分で守ろう

防災気象情報は、自分の判断で避難行動をとる目安となる情報です。気象庁が発表する、防災気象情報は、必ずしも避難行動の目安となるものではありません。自分の命は自分で守ろう。

作ってみよう！ マイタイムライン

マイタイムラインとは、風水害などの発生と備えておきたい避難行動の計画のことです。東京マイタイムラインも使って、避難に必要な知識を身につけ、自分の避難行動を確認していきましょう。

▶ 東京都防災情報 地域支援部 ☎3579-2162

台風接近！ 避難するべき場所は？

避難とは「風」を避けることであり、安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。また、避難先も区が指定する避難所だけではありません。さまざまな避難先を検討しましょう。

避難方法は大きく3つ「いる場所」ごとの状況「で変わります。」「避難所への避難」は最後の手段です。

① 在宅避難

自宅に十分な安全を確保する

② 施設避難など

施設の耐風能力（耐風圧）を確認し、人員の確保を行う

③ 区が指定する避難所

区立小・中学校など、災害時の緊急一時避難所で避難の必要が生じた場合は、避難所に避難することになります。避難所への避難は、あくまで最後の手段です。

命を守るための下記のフローチャートも必ず確認しておきましょう

スタート 各区の防災マップで確認する

自宅が十分な安全を確保できる場合は1階以上の安全な場所へ避難する

自宅が十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

自宅が大規模な地震等の災害発生区域に1階以上の安全な場所がある場合は、1階以上の安全な場所へ避難する

自宅に十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

自宅が十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

自宅が十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

自宅が十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

自宅が十分な安全を確保できない場合は、避難先を検討する

避難するときの注意点

危険な場所には近づかない

水かさが増える場所（堤防のそばや2階以上のところ、橋の上など）には近づかない。

冠水している道路は危険

マンホールや排水口などから逆流する場合があります。早めに入水し、冠水した場合は、早急に対応し避難所へ避難してください。

崖での避難は避けて

崖での避難は避難行動の目安となります。必ず避難行動の目安を確認してください。崖での避難は危険な場合があります。

地下空間は避難が困難になります

地下空間は避難が困難になります。また、50センチ程度の高さで、水はけがよい場所を探してください。早めに避難所へ避難してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

避難先が必要な場合は、必ず事前に避難先を確認してください。

防災ガイドマップ 2021 8-1

ホームページなどを確認!

<p>気害防犯ホームページ</p> <p>https://www.city.tabuchi.tokyo.jp/</p>	<p>気害防犯公式 SNS</p> <p>@tabuchi_boudan</p>
<p>水害時に必要な情報はここら</p> <p>https://www.gya.go.jp/jma/index.html</p>	<p>国土交通省 川の防災情報</p> <p>https://www.river.go.jp/jp/inf/#Q&O</p>
<p>東京都 水防総合情報システム</p> <p>http://www.ksan.soubo.metro.tokyo.jp/jp/taiho010g.html</p>	<p>気害防犯情報検索</p> <p>http://www.miscoff.jp/tabuchi/</p>

情報は他にも!

- 防災行政無線**: 防災行政無線に音声メッセージを送信し、防災情報を受信することができます。
- 電話応答サービス**: 防災行政無線から防災行政無線が鳴ったときに、電話で防災情報を確認できるサービスです。
- 緊急メール(エリアメール)**: 自然災害発生時に、区からの防災メッセージが送信されます。
- 災害用伝言ダイヤル(171)の使い方**: 電話で伝言サービスが利用できます。

column

災害時はスマートフォンが活躍

災害時の防災情報について、スマートフォンが活躍しています。インターネットやスマートフォンによる防災情報も活用しています。

▶ 東京都防災情報 地域支援部 ☎3579-2162

情報収集のしかた

防災情報などを知るには、正しい情報収集が重要です。間違った情報に惑わされず、自分自身で正しい情報の収集方法を身につけてください。

テレビで情報収集!

- NHK総合テレビデーター放送(45分)**: NHK総合テレビで放送される防災情報です。
- J.COMチャンネル(11チャンネル)**: NHK総合テレビで放送される防災情報です。

携帯電話やスマートフォンを活用!

- 気害防犯メール**: 気害防犯メールを受信し、防災情報を確認することができます。
- 防災情報アプリ**: 気害防犯情報アプリをダウンロードし、防災情報を確認することができます。

防災ガイドマップ 2021 8-2

災害時に必要なもの一覧

以下の表を参考に、各家庭で必要なものを用意しましょう。カセットコンロ・クーラー・ボックス・箱などの大袋のものは、リュックザックに入れてすぐに持ち出せるよう準備しておきましょう。

各家庭で用意しておくもの

<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 携帯充電器	<input type="checkbox"/> 非常食・飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・LEDライト	<input type="checkbox"/> 防災グッズ
<input type="checkbox"/> ヘルメット・ヘルメットカバー	<input type="checkbox"/> 災害用トイレ	<input type="checkbox"/> 非常用伝言板	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> ビニールシート・雨具	<input type="checkbox"/> アルミブランケット
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 携帯充電器	<input type="checkbox"/> ヘッドライト	<input type="checkbox"/> ライター・マッチ	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> ビニール袋・ゴミ袋
<input type="checkbox"/> クロム剤・洗剤	<input type="checkbox"/> マスク・消毒液	<input type="checkbox"/> ビニール手袋	<input type="checkbox"/> テレホンカード	<input type="checkbox"/> 医薬品	
<input type="checkbox"/> 水筒	<input type="checkbox"/> 防災グッズ	<input type="checkbox"/> ストパ	<input type="checkbox"/> 靴下・手袋	<input type="checkbox"/> パンク・オイル	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> 折りたたみトイレ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ

乳幼児がいる家庭が用意しておくもの

<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの服	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの寝具	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの食料	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの玩具	<input type="checkbox"/> 赤ちゃんの衛生用品
---------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

高齢者がいる家庭に必要なもの

<input type="checkbox"/> 高齢者の服	<input type="checkbox"/> 高齢者の寝具	<input type="checkbox"/> 高齢者の食料	<input type="checkbox"/> 高齢者の玩具	<input type="checkbox"/> 高齢者の衛生用品
--------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------

災害時に必要なもの

普段の食材を少し多めに買っておこう！

日常で使う食品を多めに買い、在庫を切り替えて買い足しを行い、常に新鮮に新しい食品が消費される方法をローリングストックといいますが、この方法なら普段から買っているものが災害時の食料に並び、安心して食事も摂ることができます。

1 保存のきく食品を多めに買おう！

4日分(12食分)の常備保存可能な食品を用意する。

1日目	2日目	3日目	4日目
朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食

2 少しずつ食べよう！

月に1度、一食のものを1日分消費する。

1日目	2日目	3日目	4日目
朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食

3 食べたいものを買い足そう！

常に4日分の食べ物・飲み物を確保できる！

1日目	2日目	3日目	4日目
朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食

4 食べたいものを買い足そう！

常に4日分の食べ物・飲み物を確保できる！

1日目	2日目	3日目	4日目
朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食

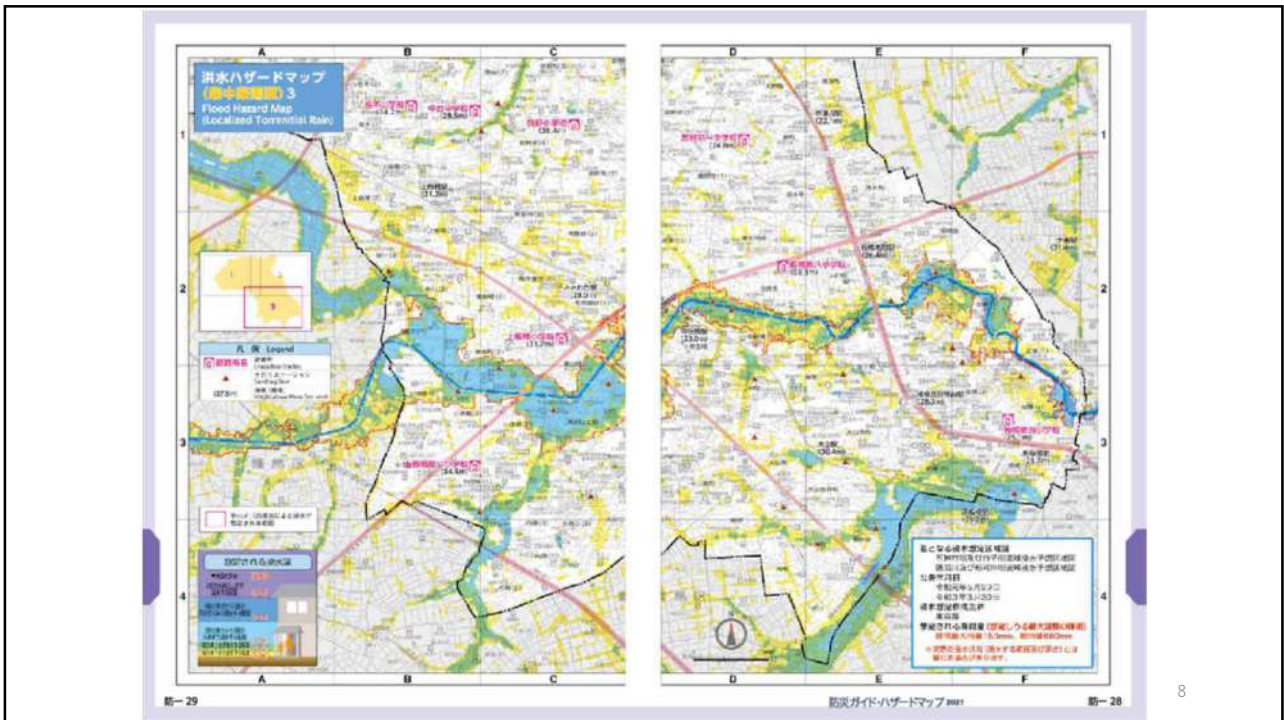
1週間分の食べ物・飲み物を用意！

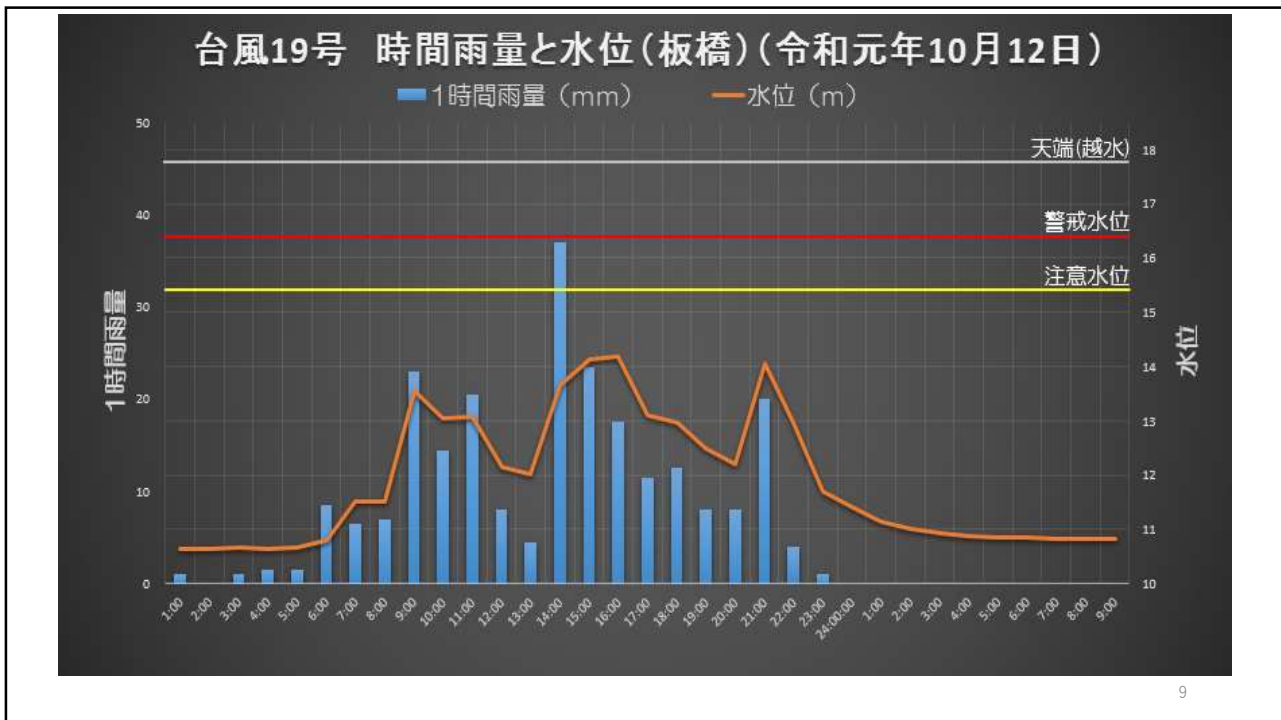
大規模な災害が発生した場合、食品や日用品の店頭販売の再開にはおおよそ7日間かかるといわれています。そのため、緊急時の3日間以降の備蓄や非常時の備蓄を、4日分以降は常備食ローリングストックしている食品を食しましょう。なお、店頭販売が再開したとしても、必要な物が必ず手に入ることは限りませんので、可能な限り1週間分の食品(常備食)の備蓄も必要となります。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目以降
飲料水(1人1日3リットル)							
片側席・冷凍庫にある食品 (生鮮食品、野菜類、冷凍食品等)							
ローリングストックしている食品(レトルト食品、インスタント食品、米類、麺類、缶詰食品、缶詰食品等)							

※非常時に備えて、非常食は必ずしも必要ではありません。

図-13
防災ガイドハザードマップ min
図-12





石神井川における調節池



白子川地下調節池（白子川～石神井川）



白子川取水施設

石神井川取水施設

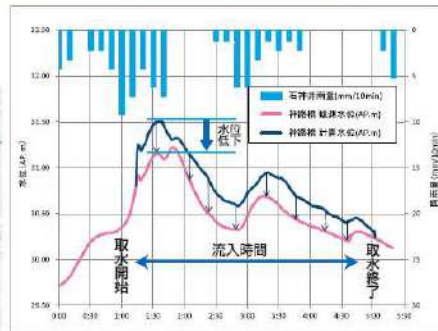


11

白子川地下調節池の石神井川への効果

石神井川の上流域で 30 mm/h を超える降雨を観測

石神井川雨量計・水位計 位置図



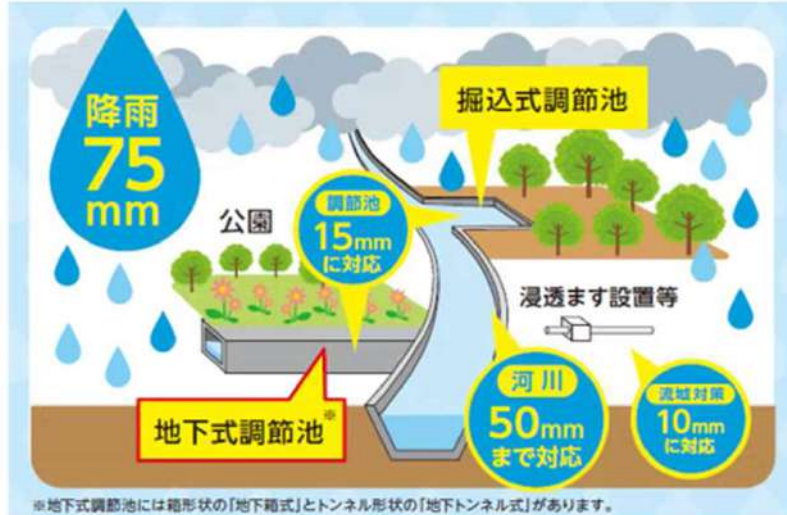
観測水位：実際に観測した水位
計算水位：白子川地下調節池に取水しなかった場合の水位(計算値)

石神井川取水施設下流の区間で 30 cm 程度の水位低下効果を発揮！

東京都：白子川地下調節池工事パンフレットより

12

1時間当たり降水量50mm対応から75mm対応へ



※地下式調節池には箱形状の「地下箱式」とトンネル形状の「地下トンネル式」があります。

東京都: 城北中央公園調節池工事パンフレットより

板橋消防団第一分団の活動紹介について

板橋消防団第一分団からの活動紹介

第1分団の活動について、お話しをさせていただきます。

本日、簡単にまとめた資料をお手元に配付させていただきました。「第2部板橋消防団第1分団の活動紹介（資料2）」という資料をご覧になりながらお聞きいただければと思います。

まず、資料の1番目にあります「消防団の歴史」ということで、簡単に記載してございます。板橋消防団は、昭和22年に13個分団で発足。その後、板橋から分離して志村消防団が発足。現在、第1分団は43名で構成されております。

次に、消防団は、災害発生時のほか、災害時に備えた訓練などを通じて、地域に密着した多岐にわたる活動を行っていますが、本日はその一端をご紹介します。

では、資料の項目2番にあります「地域での主な活動」についてご説明します。

(1) 災害出場

災害には、火災・水災の他にも、さまざまありますが、現場に出場して現場指揮本部を開設して、救援活動や情報収集も同時に行います。

直近では、2年前の令和元年10月の台風19号への対応があります。大雨特別警報が出され、区では、板橋第四小学校の避難所開設や、地域センターの職員が一晩中徹夜待機して、情報収集や緊急対応されました。消防団も、まだ雨が弱い時間帯から参集して、警戒態勢を敷きましたが、結果的には、大規模な被害は出ずに済みました。

(2) 警戒出場

消防団特別警戒として、桜まつり・区民まつり・歳末や初詣、節分の時なども警戒活動を行います。

また、東京オリンピックパラリンピックの会場の警戒活動も1年以上をかけて準備してきましたが、無観客開催となり消防団は招集されませんでした。

(3) 地域防災活動

地域の安全のためにご尽力くださっている町会・自治会の皆様と連携して行う活動は、特に重要と考えています。資料には、コロナのない平常時であれば実施している活動内容のうちいくつかを記載しています。

① 3月の板橋区総合防災訓練においては、訓練計画の段階から地域センターと町会・自治会との防災会議に出席して、訓練内容についての協議に参加させていただき、訓練当日には現場で活動させていただいております。

② 町会・自治会の防災訓練では、スタンドパイプ、AEDなどの救命応急手当、消火器の操作、土のうの積み方、ロープの結索、町会の消防ポンプ訓練指導などを行っています。

③ 区民消火隊ポンプ操法大会への出場に向けた訓練指導も行っています。

④ 各小学校・中学校ごとに開催している学校防災連絡会議には、構成員として出席しています。

⑤ 節分の日には、板橋三丁目の観明寺において警戒活動のほか、大晦日から元旦の朝まで、氷川町にある氷川神社の初詣を、第3分団と合同で警戒にあっております。

⑥ 例年8月に金沢小学校で、おやじの会主催で行われているデイキャンプでは、キャンプファイヤーと花火を実施するため、ポンプを待機させて飛び火警戒などの消火体制で出動しています。

次に資料2の裏面をご覧ください。

次に、3番の「訓練活動」についてご説明します。訓練については、資料にも記載しましたが、コロナ禍においては、災害出場を除き、訓練の自粛をしてきましたが、状況が続けば、消防団の消防力低下の懸念もあることから、今年8月と10月に、消防署との「水災図上訓練」と「震災図上訓練」を実施しました。さまざまな災害想定が次々と入り、消防団本部から各分団に活動命令が出され、どのような活動を展開し救助するかを的確に判断し、活動を無線で報告する交信訓練を、無線機35台を駆使して、団員との接触を少なくしたコロナ禍ならではの訓練を実施しています。

次に、4番の「その他の活動」では、年間を通した団員募集活動のほか、救援活動を行う際に必要となる、手話や英会話などの各種資格の取得や、団員個人が職業上の能力を災害活動に活かす「特殊技能団員」として板橋では第1分団が最も多く登録者がいます。

次に、資料の項目5番に記載しました「板橋地区管内の立地状況の特徴」について、第1分団管内には他の分団にはあまり見られない立地環境にあるため、活動範囲が多岐にわたります。そのため、第1分団は多

数の消防団員が必要不可欠です。

① 鉄道の駅が多い

第1分団管内には、板橋駅、下板橋駅、板橋区役所前駅、新板橋駅の4つの駅があり、災害時には多数の人の流れにより活動が増加します。

② 学校と病院が多い

小学校・中学校の他にも、北園高校、東京家政大学、帝京大学病院などもあり、災害時には児童の被災の可能性がります。また、区外からの通学者による日中の人口増加も見込まれます。病院への救急車の往来や、東板橋公園及び大学病院への救急搬送ヘリコプター着陸などがあると、消防団には2種類の活動（道路啓開及び道路警戒）が発生します。

「道路啓開」とは普段あまり見られない文字ですが、緊急通行車両等の通行のため、1車線でも通れるよう早急に最低限の瓦礫を処理し救援ルートを確保する事を言います。

③ 大型マンションが多い

特に、加賀地区には大型マンション数が多く、世帯数を多く抱える管内のため、多数の消防団員確保と災害時にエレベーターが停止した場合には、訓練を受けた特殊な災害活動を行います。

④ 隣接する消防団が多い

第1分団は、第2・3・4分団の区域と隣接していますので、隣接分団との相互協力での活動が増加します。

⑤ 隣接する北区・豊島区の消防署と消防団が多い

王子・滝野川・池袋消防署管内に各消防団も存在しますので、隣接する区とも、相互協力での活動が増加します。

⑥ 土のうステーションの設置数が多い

第1分団の区域には5カ所あり、最も土のうステーションが配備されている分団であることから、水災への活動が高まる傾向にあります。

配付した資料の説明は以上でございますが、この場をお借りして、ご報告があります。

各消防団には「小型の消防車両」が配備されています。第1分団は、車庫用地が確保出来ずに、長年、消防車両を保有できませんでした。この度、板橋区と東京消防庁の計画により、車庫用地が整備されることが決まりました。消防車が常駐する分団本部が完成しましたら、改めてご案内をさせていただきたいと思っ

ております。

長く続くコロナ禍においては、住民の方々からも「消火器の使い方を忘れた」「AED操作を忘れた」「地震の時はどうする」「マンションの消防設備の使い方が不安」などの声が聴かれます。

今後、第1分団は、コロナ禍における訓練のあり方を、板橋区や消防署、地域の皆様と一緒に考えながら進めて行きたいと思ひます。

最後になりますが、町会の皆様には、日頃より消防団へのご理解、応援を頂いておりますけれども、ぜひ、区役所側からも、管内に居住する区職員の消防団への入団や、新しい団員の入団勧誘などのご支援・ご協力をお願い申し上げまして、私の話を終わります。

ご静聴いただき、ありがとうございました。

危機管理部長から

板橋消防団第一分団の皆様には、コロナ禍にもかかわらず、日頃より区民の安心・安全の実現にご尽力いただき、災害の最前線で昼夜を問わずご活躍いただいていることに、深く敬意を表します。

大型マンションの増加や、多数の学校が点在することにより、人流が活発である地域特性を抱える中、町会、自治会、学校等と連携した地域防災力向上のための様々な取組を実施し、効果を上げていると認識しております。

これらの積極的な取組を通じ、地域住民との融和が順調に進んでいるものと推察しており、分団長をはじめとする板橋消防団第一分団の皆様のご尽力の賜物であるとともに、区としても大変心強く、感謝申し上げます。

消火訓練や応急手当訓練、ポンプ操法訓練等の各種訓練の実績は目覚ましく、平成30年度の消防団操法大会では準優勝の成績を収めており、まさに普段からの訓練で培った実力を発揮した成果であります。

先月7日には、東京都内で震度5強を観測する地震が発生しましたが、幸いにも、板橋区内では、大きな被害はなかったものの、いざ災害が発生した際に、地域住民の生命・身体・財産を守るためには、板橋消防団第一分団の皆様のご協力が不可欠であります。

今後も、分団長を中心に団結力を高めていただき、地域の防災リーダーとして、より一層のご活躍を期待しております。

コロナ禍における防災活動について

大山東町会からのご質問（要旨）

長く続くコロナ禍においては、対面で住民が集まって防災に関する研修を受けたり、訓練に参加したりすることが難しい状況にある。

区ではコロナ禍で区民に対してどのような形で防災訓練や防災に関する啓発・教育を行っているのか。

また、コロナ禍で実施できていないのであれば、今後どのような形で実施する予定なのかお聞かせいただきたい。

危機管理部長回答

現在、コロナ禍において、総合防災訓練をはじめ様々な訓練や事業が中止もしくは縮小して実施している状況であります。

そうした状況の中、危機管理部では、コロナ禍でも実施できるよう、様々な事業を「板橋防災プラスプロジェクト」として、昨年度から取り組んでおります。

一例を挙げれば、ご自宅に居ながら防災資器材の取扱方法を動画で確認できる「板橋防災プラスチャンネル」の配信、地震発生直後の初動体制を確認していただくための「いたばしシェイクアウト訓練など、外出自粛が要請されている時でも、誰でも気軽に参加できるようになっております（資料3スライド2番）。

また、普段から災害に備えた備蓄を推進する「おうちで備えるキャンペーン」や、災害時の情報収集方法の拡充のための「防災スマホ教室」などにより、平時からの防災に対する意識の向上に努めております（資料3スライド4番）。

さらに、来年3月に実施予定の総合防災訓練では、参加人数や時間を工夫し、人との接触を最小限に抑えるなどの感染症対策に万全を期し、より実践的な避難所開設訓練を実施したいと考えております。

内容の詳細については、今後、各地域で協議していただくことになるが、今後も感染症等のまん延期間でも実施できる防災訓練等のあり方について、検討を進めてまいります。

区長総括

板橋地域の皆様におかれましては、日頃より板橋区政へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ご存じのとおり、板橋地域は、かつて加賀藩下屋敷を有し、江戸時代から中山道の第一の宿場町として栄え、板橋の歴史と文化を凝縮したような地域です。

また、地域内には石神井川が流れ、桜のシーズンには、旧中山道の板橋付近の眺望をはじめ、河川沿道の桜は見どころが多く、区民の皆様にも大変人気のスポットになっていますが、地域の歴史をたどれば、その石神井川の氾濫による浸水被害や、古くからの町並みが、火災の延焼被害を拡大させることもありました。

そうした災害の発生時、復興期には、地域の方々の消火活動、救助活動、復興活動が、被害を最小限に留め、早期の復興に繋がったことは間違いありません。

先ほど事例発表いただきました、板橋消防団第1分団の皆様をはじめ、住民防災組織、区民消火隊、町会、自治会、板橋地域のすべての皆様が、平常時から地域の防災について、関心を持ち、様々な防災活動に取り組んでいただいていること、本当に心強く思います。

区といたしましても、いざ災害が起きた場合に、迅速かつ的確な判断と対応ができるよう日々あらゆる災害を想定し、必要な備えを整えるとともに、避難所の備蓄についても、今般課題となっている、新型コロナウイルス感染症などの感染症蔓延期の避難所運営を踏まえ、防護服など新たな資機材の備蓄などについて、準備を進めております。

また、災害発生時の早期復旧が求められる、ライフラインの確保につきましても、ご心配をおかけしている給水場所の確保については、板橋第四小学校など、未設置の指定避難所への早急な「応急給水栓」の設置を水道局に強く要望していくなど、関係事業所、企業等と協議連携を密にし、早期復旧のための対策を図ってまいります。

防災への取組は、公助だけでも自助だけでも成り立ちません。いざという時に、すべての地域の方が、落ち着いて、かつ迅速に避難行動、防災活動に当たることができる、安心・安全なまちを実現するため、区としましても平常時から防災意識の向上と、万全な備えをしていきたいと考えておりますので、今後とも、区の防災行政にご理解とご協力をお願いします。

令和 3 年 11 月 17 日 (水)
於：板橋地域センター

板橋地区 区民と区長との懇談会

第2部「板橋消防団第1分団の活動紹介」

発表者 板橋消防団第1分団

1 消防団の歴史

昭和 2 2 年 「板橋消防団」発足 (13 個分団・880 名)
昭和 3 3 年 板橋消防団から分離し、志村消防団発足
「板橋消防団」6 個分団・350 名
昭和 5 1 年 「板橋消防団」8 個分団に増設 (現在に至る)
令和 3 年 9 月 30 日現在
「板橋消防団」定員 350 名 実員 256 名 (充足率 73%)
「第 1 分団」の分団員は 43 名 (令和 3 年 9 月末現在)
内訳：会社員等勤労者 35 名・大学生 8 名で構成

2 地域での主な活動

(1) 災害出動

火災・水災・台風・救助活動・積雪時の対応、特殊な活動として自衛隊不発弾処理の現場警備活動がある

(2) 警戒出動

地区桜まつり・区民まつり・歳末・初詣・節分時等の警戒態勢

(3) 地域防災活動 (町会・自治会、学校等との連携)

- ① 区総合防災訓練における実施支援、訓練指導 (毎年 3 月)
- ② 町会・自治会単位の防災訓練における指導
- ③ 町会の消火隊への区民消火隊操法大会出場に向けた訓練指導
- ④ 学校防災連絡会議の出席 (金沢小学校・板橋第四小学校・板橋第五中学校)
- ⑤ 観明寺での節分警戒、氷川神社での初詣警戒 (第 3 分団と合同)
- ⑥ 毎年 8 月実施の金沢小学校デイキャンプにおけるキャンプファイヤー・花火の飛び火警戒

※コロナ禍においては、ほとんどの活動を実施できておりません

3 訓練活動

- ・消火訓練、応急手当訓練、ロープ結索訓練、
- ・石神井川自然水利から水をくみ上げてのポンプ送水訓練
- ・荒川河川敷での水防工法
- ・建物破壊救出訓練、緊急車両走行訓練
- ・水災震災図上訓練 (令和 3 年 8 月・10 月)

4 その他の活動

- ・ 団員募集
- ・ 手話・英会話・応急手当資格・ポンプ整備資格・無線免許等の取得

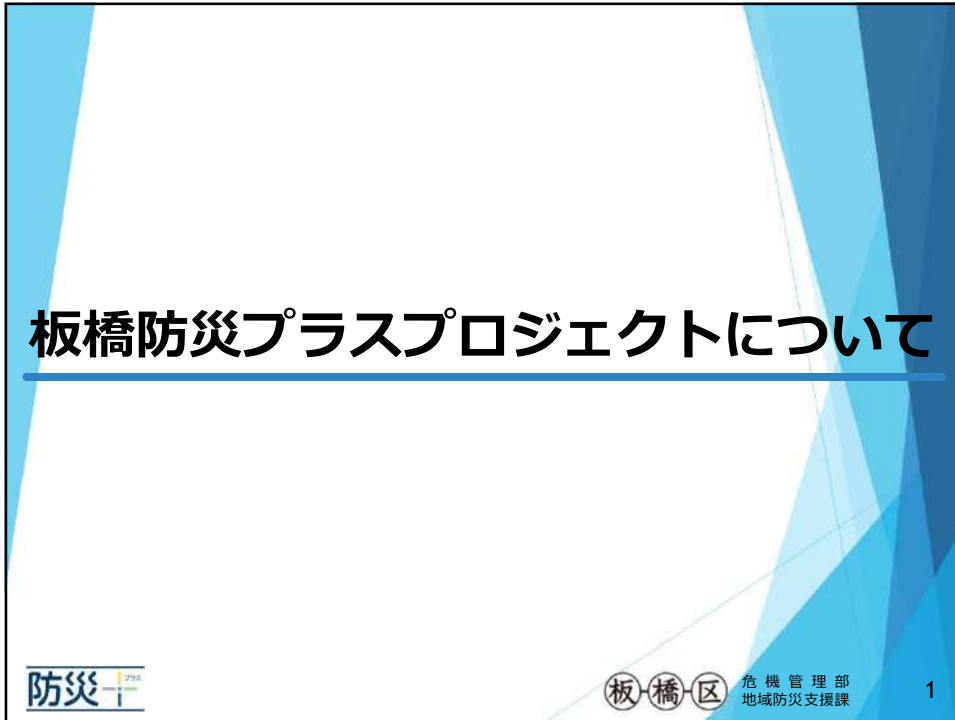
救援活動を行う際に必要となる、手話や英会話などの各種資格の取得や、団員個人が持つ職業上の能力（看護師・薬剤師・保育士・海難救助ダイバー・柔道整復師・介護ヘルパー・防災士・調理師・建築士・大型トラック・大型バス・マイクロバス運転・けん引・タクシードライバー（地理に詳しい）・柔道剣道空手有段者（避難所地域での犯罪から身を守る）・無人航空機ドローン操縦士（上空からの情報収集）・船舶操縦・玉掛け・重機操作・電気工事士・危険物・陸海空無線技士・応急手当指導員・放射線取扱など）を災害活動に活用する「特殊技能団員」が最も多いのも第1分団の特長。

- ・ 消防総監が消防団の消防力を確認する合同点検（東京卸売市場板橋市場）
- ・ 国民保護法活動（武力攻撃・弾道ミサイル攻撃・サリン等化学物質攻撃）

5 板橋地区管内の立地状況の特徴

- ① 鉄道の駅が多い
(板橋駅・下板橋駅・新板橋駅・板橋区役所前駅)
- ② 学校と病院が多い
(板橋第二・四・金沢小学校、板橋第五・加賀中学校、北園高校、帝京高校・大学、東京家政大学、資生堂学園、帝京大学病院、愛誠病院、荘病院)
- ③ 大型マンションが多い（加賀地区に大型マンション多数）
- ④ 隣接消防団が多い
(第2分団・第3分団・第4分団)
- ④ 隣接する区に消防署と消防団が多い（消防署3署・消防団3個）
(消防署：王子・滝野川・池袋 / 消防団：王子・滝野川・池袋)
- ⑥ 土のうステーションの設置数が区内で1番多い
(南部土木サービスセンター管内33ヶ所中、第1分団管内は5ヶ所)

以 上



板橋防災プラスプロジェクトについて

いたばしシェイクアウト (実施予定)
(一斉シェイクアウト訓練)
◆ 地震災害発生時の**初動措置**を身に付けられる訓練

【今年度実施予定】
令和4年3月11日(金) 実施時間調整中

地震のときは...
**ちゃんと
かくれよう!**

**区内いたばし 1分間
シェイクアウト**

令和3年3月11日 11時00分 実施

防災プラスの取組は、地域防災推進協議会が中心となり、区民の皆さんと連携して実施しています。関係機関の協力をいただき、1分間の準備を怠りなく、必ずしもかくれよう、逃げようとする必要はありません。

訓練のポイントを「**しゃがむ、隠れる、待つ。**」

昨年度の状況

防災 板橋区 危機管理部 地域防災支援課

2

板橋防災プラスプロジェクトについて 防災 プラス

板橋防災プラスチャンネル



マンホールトイレ組み立ててみた
(6月8日公開開始)
□ 再生数382回



30秒でわかる! 鼻血の止め方
(5月7日公開開始)
□ 再生数3,797回



非常袋
(7月7日公開開始)
□ 再生数829回



りんりんちゃん、スタンドパイプ使ってみた
(2月28日公開開始)
□ 再生数370回



りんりんちゃん、D級ポンプ使ってみた
(2月22日公開開始)
□ 再生数797回

(株)板橋区 危機管理部 地域防災支援課

3

板橋防災プラスプロジェクトについて 防災 プラス

おうちで備えるキャンペーン

- ◆ 在宅避難のための対策の普及啓発
 - ・防災用品、食品等の備蓄への意識啓発
 - ・ローリングストックの普及
- ◆ 地震時に身を守るための家具の転倒等防止対策の普及啓発

【実施状況】

- 会場
 - 8/24～9/12 イオンスタイル板橋
 - 8/30～9/5 イオンスタイル板橋前野町
 - 8/28-29 セブントウン小豆沢



イオンスタイル前野町



イオンスタイル板橋



広報ポスター

(株)板橋区 危機管理部 地域防災支援課

4

新型コロナワクチン接種情報(11月12日現在)

1 ワクチンの供給状況

1・2回目接種用の国からのワクチンの供給は、現在休止しています。

区では新たに接種可能年齢(12歳)に達する方や、1回目・2回目が未接種の方を対象に、集団接種会場並び一部の協力医療機関で予約を受け付けています。

接種を希望される方は、お早めに予約をお取りいただき、接種を受けてください。

2 3回目接種について

国より3回目の接種の概要が示されました。

①接種の時期

2回目接種完了から8か月後以降

(区内では6月中旬に接種を完了した方(主に高齢者)が、2月中旬より接種を開始する予定)

②使用ワクチン

原則として1・2回目と同じワクチンを接種します。

③接種対象の範囲

3回目接種を希望するすべての方

④接種会場

区が設置する集団接種会場及び各協力医療機関

⑤接種券の発送

1月中旬以降、2回目接種日ごとに順次発送していきます。

3 新型コロナワクチン接種証明書(ワクチンパスポート)の申請を受け付けています

海外渡航予定のある方を対象に、接種証明書の申請を受け付けています。

①申請・発行方法

原則郵送でご申請いただき、書面で発行いたします。

②必要書類

申請書、旅券(パスポート)、接種券もしくは接種済証か接種記録書、本人確認書類の写し、返信用封筒等。

※詳細は区公式ホームページをご覧ください。

※申請が集中した場合は、証明書の発行が遅れる場合があります。

4 板橋区接種状況

		接種数	高齢者人口 (13.3万人) 比	総人口 (57万人) 比
板橋区	1回目接種率	429,645回	90.98%	82.50%
	2回目接種率	419,119回	90.55%	80.50%
国	1回目接種率	\	91.71%	72.49%
	2回目接種率		91.00%	69.56%
東京都	1回目接種率		89.66%	72.18%
	2回目接種率		88.86%	69.74%

板橋区のデータ：11月12日午前9時時点

国・都のデータ：11月10日午後11時時点

5 周知方法

最新の情報は、区公式ホームページをご覧ください。



お問合せ 健康生きがい部（保健所）予防接種担当課 ☎6905-7837

その他リーフレット

(1) こんな勧誘に注意！火災保険を使って無料で屋根を「修理しませんか」

○概要

「火災保険を利用すれば、修繕が無料でできる」と事業者から言われて契約したところ、高額な請求をされるといったトラブルが増えています。

その場で契約せずに、契約内容をしっかりと確認し、慎重に検討しましょう。

○担当部署

消費者センター ☎03-3579-2266



(2) 「消費者お助けダイヤル188」について

○概要

消費生活センターでは、商品やサービスなど消費生活全般に関する苦情や問合せなど、消費者からの相談を専門の相談員が受け付けています。

○担当部署

消費者センター ☎03-3579-2266



(3) マイナンバーカード出張申請受付を行います

○概要

お近くの地域センターや商業施設等にお越しいただければ、マイナンバーカードの申請をサポートします。

また、出張申請受付会場でお申込みいただくと、マイナンバーカード受取時対象者1人につき、区内共通商品券2千円分プレゼントします。

○担当部署

板橋区マイナンバーコールセンター ☎03-6905-7031



本日は、限られた時間ではございましたが、貴重なご意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。本日の懇談会では、地域防災など、地域の安心・安全に関するテーマが多く、地域の皆様の関心の高さを感じる機会となりました。皆様からいただいたご意見・ご要望につきましては、できることは速やかに実行に移し、検討・調整を要するものについても、十分に検討し、よりよい区政の実現に向けて取り組んでまいりますので、今後とも、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染者数は落ち着きを見せており、様々な制限が徐々に緩和され、少しずつ日常を取り戻しつつあります。板橋区でもワクチンの予防効果を高めるため、3回目接種の準備を進めています。いわゆる第6波への懸念もありますが、今後も刻々と変化する状況を的確に捉え、迅速・柔軟な対応を図り、区民の皆様に、安心・安全をお届けできるよう全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、板橋地区の益々のご発展と、本日お集まりいただきました皆様の益々のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

板橋地区エリアマップ

子ども動物園



東板橋公園内にある板橋こども動物園は、草屋根や壁面緑化による環境負荷軽減への取り組みや、キッズルームやおむつ交換スペースなどの施設機能を充実させ、装い新たに昨年オープンしました。

皆様に楽しんでいただけるようポニー引馬やヤギの草屋根のぼりなどのプログラムを日常的に実施しています。

史跡公園



板橋区加賀一丁目に所在する「史跡陸軍板橋火薬製造所跡」を整備し、当時の遺構や建造物を含めて公開を行う歴史公園です。

「板橋の歴史・文化・産業を体感し、多様な人々が憩い、語らう史跡公園」を基本コンセプトとして、グランドオープンに向けて、整備を進めています。

板橋駅西口周辺地区



当地区は戦後、土地が細分化し、小規模な飲食・サービス系の店舗併用住宅が大半を占め、建築物の老朽化が進んでおり、住環境や耐震性に問題をかかえています。

「板橋区の玄関にふさわしいまち」、「誰もが暮らしやすく、活気にあふれたまち」、「安全で安心なまち」の実現をめざし、再開発に取り組んでいます。

加賀スポーツセンター



植村冒険館との複合化に向け大規模改修を行っていた東板橋体育館が、緑に囲まれたスポーツと冒険が融合する施設、「植村記念加賀スポーツセンター」として12月にグランドオープンします。オープニングセレモニーや講演会を予定しています。

